

TELEVISION RECEIVER

Patent Number: JP2001333334
Publication date: 2001-11-30
Inventor(s): MITSUMATA TATSUAKI
Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Requested Patent: ☐ JP2001333334
Application Number: JP20000149372 20000522
Priority Number(s):
IPC Classification: H04N5/44; H04M11/00; H04N5/00; H04N5/7826; H04Q9/00
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve a problem of a conventional television receiver that has required control by a remote controller or the like to adjust a sound volume when a phone call comes during viewing a television program and where a user may have missed an important program because viewing of the TV program is difficult during phone, communication.

SOLUTION: A modem or the like built in the television receiver detects the arrival of an incoming phone call, the sound volume is adjusted and recording of the program during viewing is automatically started without the need for a user to make complicated operations in a short time consciously as an advantage.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-333334

(P2001-333334A)

(43) 公開日 平成13年11月30日 (2001. 11. 30)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
H 0 4 N 5/44		H 0 4 N 5/44	A 5 C 0 1 8
H 0 4 M 11/00	3 0 1	H 0 4 M 11/00	3 0 1 5 C 0 2 5
H 0 4 N 5/00		H 0 4 N 5/00	A 5 C 0 5 6
5/7826		H 0 4 Q 9/00	3 0 1 E 5 K 0 4 8
H 0 4 Q 9/00	3 0 1		3 1 1 T 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-149372 (P2000-149372)

(22) 出願日 平成12年 5 月 22 日 (2000. 5. 22)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 三俣 龍明

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外 2 名)

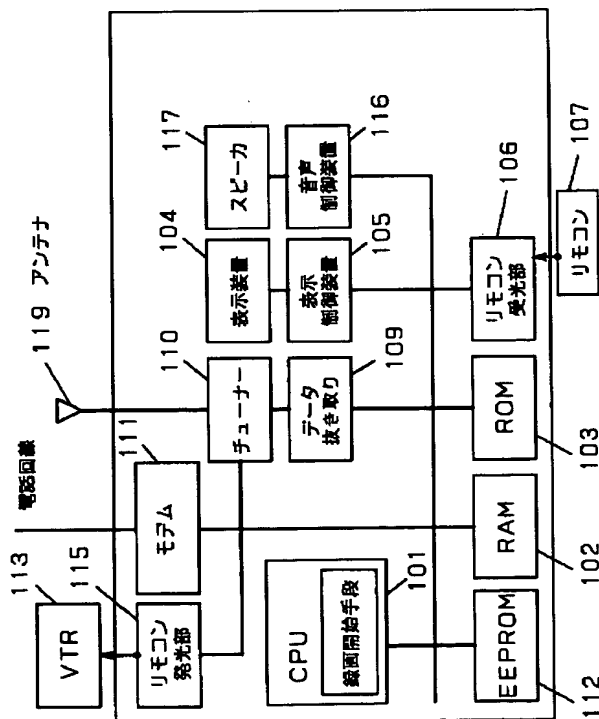
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 テレビ受信機

(57) 【要約】

【課題】 テレビの視聴中に電話がかかってきた場合に、音量を調節するには、リモコン等の操作が必要であり、また、電話中のテレビの視聴は困難で、大切な番組を見逃すという課題があった。

【解決手段】 テレビ受信機に内蔵されたモデムなどで、電話の着信を検知し、音量を調整すると共に、ユーザーが意識的に短時間に複雑な操作をすることなしに、視聴中の番組を自動的に記録開始するという、有利な効果が得られる。



(2)

【特許請求の範囲】

【請求項1】 チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、モデムと、録画開始手段を有するCPUを設けることにより、モデムに接続された電話回線の着信を自動的に検知し、録画開始手段を有するCPUを設けたテレビ受信機。

【請求項2】 チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、携帯電話の着信時の電波を受けるためのアンテナと、そのアンテナからの電波を検知する受信回路と、録画開始手段を有するCPUを設けたテレビ受信機。

【請求項3】 チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、携帯電話と通信するためのアンテナと、携帯電話と通信を行なう回路と、録画開始手段を有するCPUを設けたテレビ受信機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、テレビ受信機に関するもので、特に電話回線とテレビを接続した形態において、着信信号に応じた制御サービスに係わるものである。

【0002】

【従来の技術】 図4に従来のテレビ受信機の構造を示しており、映像信号に重畳されたデータを取り出すデータ抜き取りLSI410と、リモコン407と、リモコン信号を受信する受光部406と、プログラムを格納したROM403と、データを格納するRAM402と、表示制御手段705を用いて表示装置404上に表示する手段を有するCPU401で構成されている。

【0003】 放送電波に重畳された、番組情報は、チューナー408で、映像信号を取り出され、データ抜き取り410で、映像信号の垂直帰線消去期間（VBI: Vertical Blanking Interbal）に重畳された番組情報を取り出す。CPU401で解読された番組情報は、ユーザーのビデオ予約操作により、リモコン発光部415を通じてビデオ予約情報を赤外線信号でビデオデッキ713に送信する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来の技術では、番組の録画をテレビから行なう際にはユーザーの操作が不可欠であり、電話が着信した時に素早く電話に対応すると同時に、その時視聴していた番組の記録を開始することは非常に繁雑であった。

【0005】

【発明の実施の形態】 この課題を解決するために本発明

2

は、テレビ受信機に内蔵されたモデムなどで、電話の着信を検知し、ユーザーが意識的に操作することなしに、視聴中の番組を自動的に記録開始する。

【0006】

【発明の実施の形態】 本発明の請求項1に記載の発明は、チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、モデムと、録画開始手段を有するCPUを設けることにより、モデムに接続された電話回線の着信を自動的に検知し、録画開始手段を有するCPUで録画開始信号を作成し、リモコン発光部を通じて、外部のビデオデッキに録画開始を指示するというものであり、電話着信時にユーザーが複雑な操作をすることなく視聴中の番組を記録開始することができる。

【0007】 本発明の請求項2に記載の発明は、チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、携帯電話の着信時の電波を受けるためのアンテナと、そのアンテナからの電波を検知する受信回路と、録画開始手段を有するCPUを設けたテレビ受信機。というものであり、電話着信時にユーザーが複雑な操作をすることなく視聴中の番組を記録開始することができる。

【0008】 本発明の請求項3に記載の発明は、チューナーと、リモコンと、リモコン信号を受信する受光部と、プログラムを格納したROMと、データを格納するRAMと、リモコン発光部と、携帯電話と通信するためのアンテナと、携帯電話と通信を行なう回路と、録画開始手段を有するCPU録画開始信号を作成し、リモコン発光部を通じて、外部のビデオデッキに録画開始を指示するというものであり、電話着信時にユーザーが複雑な操作をすることなく視聴中の番組を記録開始することができる。

【0009】 以下、本発明の実施の形態について、図1から図3、図5を用いて説明する。

【0010】（実施の形態1） まず、電話回線につながっているモデム111が、電話の着呼を検知する。続いて、モデム111が着呼したというステータスをCPU101に対して送信する。着呼のステータスを受け取ったCPU101は、VTR113に対して、録画開始の指示を送る。この録画開始の指示を図5のフローチャートを用いて説明する。

【0011】 電話着呼をモデム111から受け取ったCPU101は、フローF01でVTR113に対して、電源を入れる信号をリモコン発光部115を通じて送信する。続いて、フローF02で現在テレビ受信機で受信中のチャンネル情報を取得する。フローF03で取得したチャンネル情報に基づいて、VTR113に対して、チャンネルを変更する信号をリモコン発光部115を通

(3)

3

じて送信する。最後にフローF04で、VTR113に対して、録画開始の信号をリモコン発光部115を通じて送信する。

【0012】なお、上記実施例では、録画開始信号を送っているが、電子番組情報(EPG)を元に、現在視聴している番組の予約情報をVTR113に送信してもよい。

【0013】なお、上記実施例では、録画を行なっているため、ユーザーは後からその番組を確認することができるため、音声制御装置116に対して音声を小さくする情報を送り、テレビの音量を小さくすることで、ユーザーの電話通話を行ないやすくなることができる。

【0014】なお、上記実施例では、ハードウェアによる処理とソフトウェアによる処理に分けているが、それぞれを、ハードウェアによる処理、ソフトウェア処理のどちらかに置き換えてもよい。

【0015】なお、上記実施例では、外部のビデオデッキに対して、録画を行なう指示を行なっているが、テレビ受信機内蔵の記録装置、例えばハードディスクドライブや、メモリーに記録してもよい。また、メモリカードスロットを本体に設けて、そのスロットを通じてメモリーカードに記録してもよい。

【0016】(実施の形態2) まず、アンテナ220で、携帯電話222が着呼時に発信する電波(一般に1.5GHzまたは、800MHz)を受信する。着信判定回路221で受信した電波が携帯電話222から発信された電波であることを判定する。着信判定回路221は、携帯電話222から発信された電波を受信したことをステータスをCPU201に対して送信する。着呼のステータスを受け取ったCPU201は、VTR213に対して、録画開始の指示を送る。この録画開始の指示を図5のフローチャートを用いて説明する。

【0017】電話着呼を着信判定回路221から受け取ったCPU201は、フローF01でVTR213に対して、電源を入れる信号をリモコン発光部215を通じて送信する。続いて、フローF02で現在テレビ受信機で受信中のチャンネル情報を取得する。フローF03で取得したチャンネル情報に基づいて、VTR213に対して、チャンネルを変更する信号をリモコン発光部215を通じて送信する。最後にフローF04で、VTR213に対して、録画開始の信号をリモコン発光部215を通じて送信する。

【0018】なお、上記実施例では、録画開始信号を送っているが、電子番組情報(EPG)を元に、現在視聴している番組の予約情報をVTR213に送信してもよい。

【0019】なお、上記実施例では、録画を行なっているため、ユーザーは後からその番組を確認することができるため、音声制御装置216に対して音声を小さくする情報を送り、テレビの音量を小さくすることで、ユーザーの電話通話を行ないやすくなることができる。

4

ザーの電話通話を行ないやすくなることができる。

【0020】なお、上記実施例では、ハードウェアによる処理とソフトウェアによる処理に分けているが、それぞれを、ハードウェアによる処理、ソフトウェア処理のどちらかに置き換えてもよい。

【0021】なお、上記実施例では、外部のビデオデッキに対して、録画を行なう指示を行なっているが、テレビ受信機内蔵の記録装置、例えばハードディスクドライブや、メモリーに記録してもよい。また、メモリカードスロットを本体に設けて、そのスロットを通じてメモリーカードに記録してもよい。

【0022】(実施の形態3) まず、機器間通信回路321が、携帯電話322より電話の着呼を受信する。続いて、携帯電話322が着呼したというステータスをCPU301に対して送信する。着呼のステータスを受け取ったCPU301は、VTR313に対して、録画開始の指示を送る。この録画開始の指示を図5のフローチャートを用いて説明する。

【0023】電話着呼を機器間通信回路から受け取ったCPU301は、フローF01でVTR313に対して、電源を入れる信号をリモコン発光部315を通じて送信する。続いて、フローF02で現在テレビ受信機で受信中のチャンネル情報を取得する。フローF03で取得したチャンネル情報に基づいて、VTR313に対して、チャンネルを変更する信号をリモコン発光部315を通じて送信する。最後にフローF04で、VTR313に対して、録画開始の信号をリモコン発光部315を通じて送信する。

【0024】なお、上記実施例では、録画開始信号を送っているが、電子番組情報(EPG)を元に、現在視聴している番組の予約情報をVTR313に送信してもよい。

【0025】なお、上記実施例では、録画を行なっているため、ユーザーは後からその番組を確認することができるため、音声制御装置316に対して音声を小さくする情報を送り、テレビの音量を小さくすることで、ユーザーの電話通話を行ないやすくなることができる。

【0026】なお、上記実施例では、ハードウェアによる処理とソフトウェアによる処理に分けているが、それぞれを、ハードウェアによる処理、ソフトウェア処理のどちらかに置き換えてもよい。

【0027】なお、上記実施例では、外部のビデオデッキに対して、録画を行なう指示を行なっているが、テレビ受信機内蔵の記録装置、例えばハードディスクドライブや、メモリーに記録してもよい。また、メモリカードスロットを本体に設けて、そのスロットを通じてメモリーカードに記録してもよい。

【0028】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、テレビ受信機に内蔵されたモデムなどで、電話の着信を検知し、

(4)

5

ユーザーが意識的に短時間に複雑な操作をすることなしに、視聴中の番組を自動的に記録開始するという、有利な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態を示す図

【図2】本発明の一実施の形態を示す図

【図3】本発明の一実施の形態を示す図

【図4】従来のテレビ受信機を示す図

【図5】本発明の一実施のフローを示す図

【符号の説明】

101 CPU

102 RAM

103 ROM

104 表示装置

105 表示制御装置

106 リモコン受光部

107 リモコン

109 データ抜き取りLSI

110 チューナー

111 モデム

112 EEPROM

113 VTR

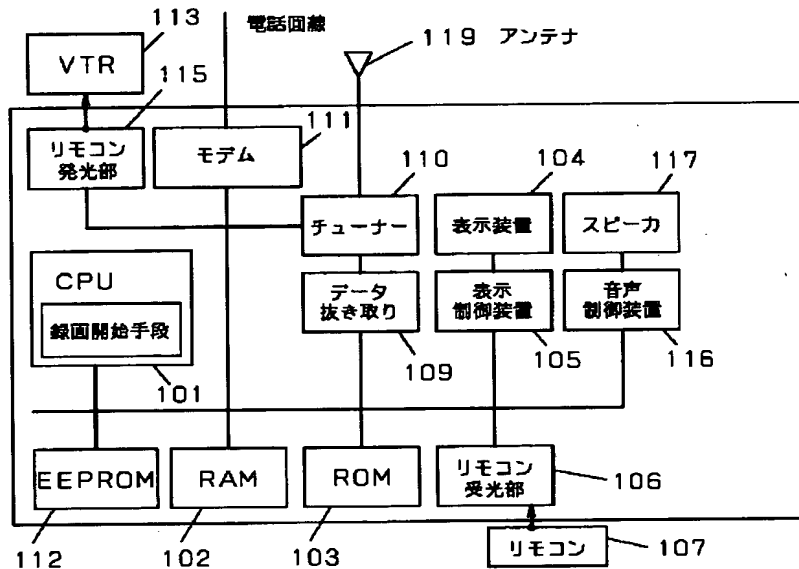
10 115 リモコン発光部

116 音声制御装置

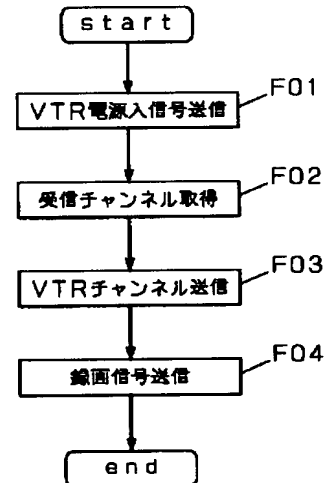
117 スピーカ

119 アンテナ

【図1】

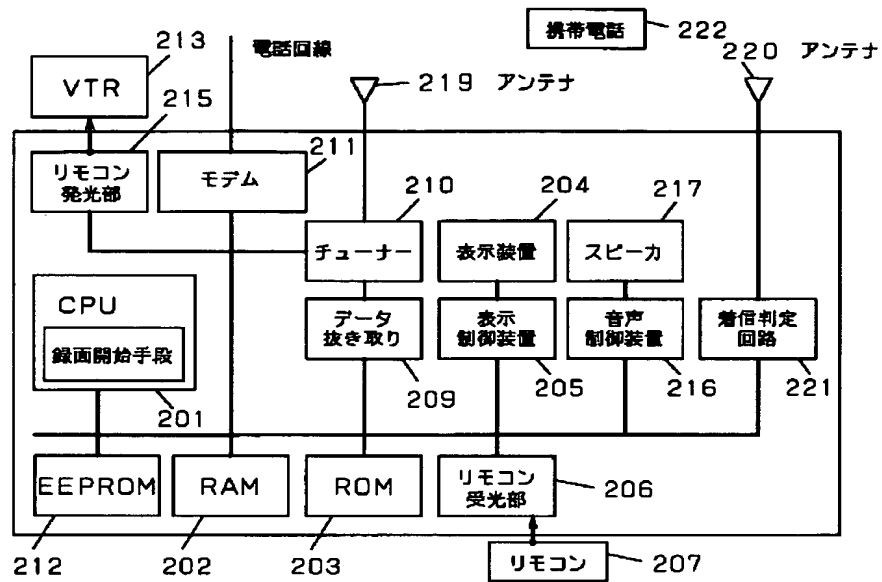


【図5】

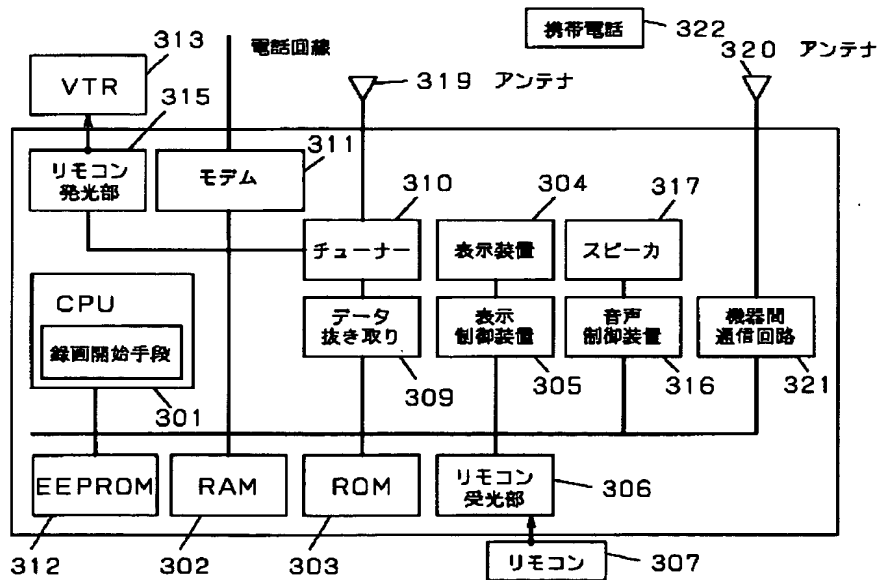


(5)

【図2】

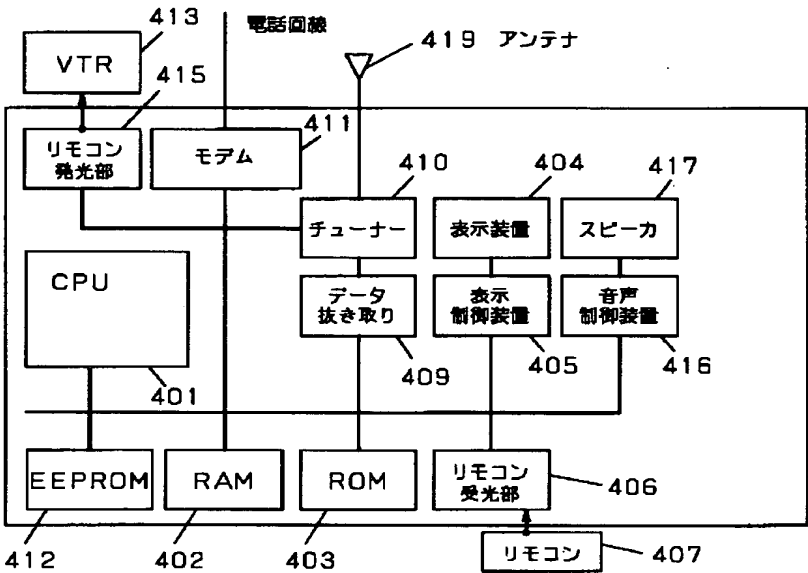


【図3】



(6)

【図4】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7	識別記号	F I	テーマコード (参考)
H 0 4 Q 9/00	3 1 1	H 0 4 N 5/782	Z
F ターム (参考)	5C018 FA04 FB07 HA10		
	5C025 AA25 AA29 AA30 BA27 DA05		
	5C056 AA01 AA04 BA03 BA08 CA08		
	CA15		
	5K048 AA04 BA03 DB04 DC01 DC07		
	EB02		
	5K101 KK11 LL01 LL12 MM05 RR21		